

令和4年中の火災・救急・救助概要について(概数)

火災概要

令和4年の総出火件数は9件で、前年と同件数でした。
 火災種別でみると、建物火災が6件、その他火災が2件、車両火災が1件でした。
 建物火災のうち住宅(専用住宅、共同住宅)は3件で、前年と比べ4件減少しました。
 損害額については5,155千円で、前年より47,229千円減少し、過去最少の損害額でした。
 火元建物の焼損程度は、全焼1件、部分焼2件、ぼや3件でした。
 また、火災による死者は1名、負傷者は2名発生しました。

区分		年	令和4年	令和3年	増減
火災件数	合計		9	9	
	建物火災		6(住宅3)	8(住宅7)	▲2(▲4)
	林野火災				
	車両火災		1	1	
	船舶火災				
	航空機火災				
	その他火災		2		2
焼損棟数			6	13	▲7
り災世帯数			2	8	▲6
面焼積損	建物床面積(㎡)		79	1,001	▲922
	建物表面積(㎡)				
	林野(a)				
損害額(千円)別	合計		5,155	52,384	▲47,229
	建物		3,561	52,354	▲48,793
	車両		12	30	▲18
	航空機				
	その他		1,582		1,582
死者数			1		1
負傷者数			2	2	
火災発生間隔日数(日)			40.6	40.6	
焼火損元程度建物	全焼		1	3	▲2
	半焼				
	部分焼		2	1	1
	ぼや		3	4	▲1
爆発					
火災原因	放火・放火の疑い			2	▲2
	マッチ・ライター		1		1
	たばこ		1	2	▲1
	配線器具		1		1
	上記以外		6	5	1
住宅用火災警報器設置件数()は住宅火災件数			3(3)	3(7)	

救急概要

令和4年の救急出動件数は4,812件でとなり、前年に比べ651件増加し過去最多の出動件数となりました。

1日あたりの平均件数は13件を超え、10年前に比べ約45%の増加となっています。

全体の搬送人員のうち、約66%が高齢者でした。

搬送人員は4,451人で、小松市民の約24人に1人が搬送されたこととなります。

搬送した傷病者のうち約45%は軽症でした。

区分		年	令和4年	令和3年	増減
救急出動件数	合計		4,812	4,161	651
	急病		3,153	2,549	604
	交通事故		261	237	24
	一般負傷		739	691	48
	転院搬送		519	545	▲ 26
	上記以外		140	139	1
救急搬送人員	合計		4,451	3,915	536
	急病		2,914	2,412	502
	交通事故		234	218	16
	一般負傷		688	650	38
	転院搬送		521	545	▲ 24
	上記以外		94	90	4
搬送者年齢別	高齢者		2,933	2,625	308
	成人		1,169	999	170
	少年		164	118	46
	乳幼児		184	167	17
	新生児		1	6	▲ 5
搬送程度別	死亡		138	107	31
	重症		478	519	▲ 41
	中等症		1,816	1,643	173
	軽症		2,019	1,646	373
	その他				

救助概要

令和4年の救助出動件数は65件で、前年に比べ11件増加しています。

出動件数のうち、救助活動件数は40件、救助人員は133人となりました。

内訳として、交通事故による出動が31件で最多となり、全体の半数となりました。

区分		年	令和4年	令和3年	増減
出動件数			65	54	11
活動件数			40	30	10
救助人員			133	35	98